

第7日

令和8年6月17日（水）

午後1時零分再開

○議長（小島清人君） 休憩前に引き続き会議を開き、一般質問を続行いたします。

次に、8番熊本正博議員の質問を許可します。8番熊本正博議員。

（8番熊本正博君登壇）

○8番（熊本正博君） 皆さん、こんにちは。8番熊本正博でございます。本日、傍聴にお見えになった皆様、それからインターネットで傍聴をされている皆様、お忙しい中、誠にありがとうございます。

最初に、中島市長、今回御当選、誠におめでとうございます。

さて、今日はこちらで一つだけ皆様にお話をしたいことがあります。それは、私が12月の議会でしたが、戦後80年について質問したことがあります。その中で、私が「中学校の校長が忠霊塔も知らんとげな」ち、そういうことを言ったことがあります。そうしたら、恐らく早野教育長はそのとき私に「なんげやん」ち思われたのかもしれないし、または、「何しよるか、校長は」ち思われたのかは分かりませんが、その後、3月31日の日でしたが、教育長が小学校、中学校、校長合わせて17校区の校長を全員、忠霊塔に集めておられます。私が一般質問でこう言ったけ、普段なら、そんならいが何げやんぐらいでいいことかもしれませんけど、やはり私たちのほうの思いを聞いていただいたことが、まずはすばらしいと思いましたし、遺族会のほうからもお見えになっておりましたし、國武会長をはじめ遺族会の方、それから教育長、それから教育部長、そして校長先生17名、何かほとんど来られておったと思われませんが、そこで國武遺族会の会長が、戦後のことについてとか、それから忠霊塔とは何ぞやということでお話をされております。忠霊塔の中にも入られて、中には2,712名の方の御霊がそこに置かれておるわけでございますが、ただ、中には空の骨壺が置いてあって、あとは名前があるちゅうだけで、みんな戦没者の方は、よそでフィリピンとかどこかとかで亡くなられた方なんで、骨があるわけもないはずですよ。そういうながらも忠霊塔というものがある。そういうことを、碑文書ちゅうのがありまして、碑文書が忠霊塔の横にこの頃造られたんですがありますので、それを基に説明をされておりました。

國武会長から言いますと、こんなにさせていただいて、本当教育長にはありがたいと、涙を流しながら言われました。もう私はこれで肩の荷が降りたばいっち、よかった。次の世代に話がされたこと。そしてまたその校長先生たちがまた次の先生たちに話し、そして子どもたちに話していく。そういう継承していく。戦争のことを忘れてはならないということで、この校長を集められたことに対しては、私はあっぱれをあげたいと思います。よく筑前町がいいとか、うきは市のほうがええもんとかいう方がおりますが、私は朝倉市は負けちょらんち思いよりも。教育長もトップクラスではないですかね、こちらでおい

も。ほかのところでこういう校長先生を集めてやりよるちゅうところはなかったやないですか、恐らくこういうことを。生徒がとか先生たちが話をするとか、戦争の体験者がするとかいうことはあったとは思いますが、教育長が頭になってやったということが、本当すばらしいことだと、実現をしていくということがすばらしいと思っております。

これからは、今度はまたよいこともあるし悪いことも話をさせていただきたいと思います。一般席に帰りましてさせていただきます。執行部の皆様、どうか明快な回答をよろしくお願いいたします。

(8 番熊本正博君降壇)

○議長（小島清人君） 8 番熊本正博議員。

○8 番（熊本正博君） それでは、通告書に従い一般質問を行います。

最初に、市長の治水、利水に関する認識を問う。

市長の所信表明についてであります。市長提案理由書の所信表明を聞きました。驚きました。がっかりしました。私は、市政方針の基軸は何であるのかが理解できておりません。

朝倉市の地形は、南側に筑後川、北側には東西に山岳地がございます。多くの山地、河川の水が筑後川に流れ込んでおります。つまり、河川に囲まれた谷底平野と低平地を穏やかに流れる河川に大別がされております。谷底平野とは谷の底、谷底と書いて「こくてい」と読みます——を流れる河川は河川延長が短く、その割には勾配が急であります。だから災害が起こりやすい。そういう朝倉市の地形でございます。

朝倉市民は、そのような河川に囲まれて生活を営み産業活動がなされていますが、筑後川の三大洪水に数えられる昭和28年、今から72年前の大災害、それから山地河川で発生した近年の豪雨災害では、35名の犠牲者を伴った平成29年7月九州北部豪雨災害がありました。つまり、朝倉市は豪雨に対して脆弱な地形、もろくて弱い地形にあるといえます。

市長の所信表明5項目に、災害に強いまちづくりが入っていない。昨日の2番議員のやり取りの中で、市長は災害は土台なので外したと言われました。そんなこと市長に、市民は書いていないものは伝わらない、分からないんじゃないかと、昨日そう思いながら聞いていたわけですが、市長、災害は私としては一丁目一番地だと思っております。災害が1番に項目に上がってからこそ、あとは災害のまちづくり、防災のまちづくりというものが確立されてからこそ、人口増減とか子育て問題、こういうものが出てくるのではないかと思います。災害が起こって何なんというそういう対策もできていないのに、どこから人が集まっていきますか。怖い怖いので恐らく来ないのではないですか。やっぱり、こういうふうに災害対策を十分やってますよということは、1番目に旗揚げされるべきだったと私は思っております。それを強い言い方をしますと、申し訳ないんですが、答弁上の逃げ言葉で、昨日のは言うならば詐欺のような話だったと私は理解をしました。平成29年7月災害で亡くなられた35名の方々に對し、本当申し訳ないとか、災害で九州の宮崎とか長崎、熊本、いろんなところから災害の応援に来ていただいて、一生懸命復興をしながら帰って

いただいた方に対しても、やっぱり項目に上がっていないというのは、本当に失礼ではないかなと、そういうふうに思っております。

平成29年7月災害の復旧に全力投球するために奮闘された前市長は、災害復旧に当たって、ふるさと朝倉を取り戻すの姿勢で復旧を見事にやり遂げられました。このことについて、市民は周知の事実と私は理解をしております。だから、市民の安心・安全をいかに大事にするかの姿勢で、治水機能の充実を揺るぎない基軸とし、国や県、水資源機構に協力を求めてこられたと私は理解をしているところです。

朝倉市には、いまだに治水機能を充実させなければならない課題がたくさん山積みがありますが、違いますか。何度も言いますが、以上の認識は、中島市長の所信表明の中には災害のことは一字も見えない、読み取れません。あんな大災害が何度も何度も繰り返された朝倉市なのに、驚きました。

そこで質問します。朝倉市の地形的特徴、市民の安心・安全の基本となる安全な地域づくりに関する市長の基本的な認識をお伺いいたします。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） ではお答えいたします。

平成29年九州北部豪雨災害につきましては、私も強く目に焼きついておりますし、印象に残っております。決して忘れられる出来事ではありません。当時は、私は市議会の議長の職にあり、執行部をお願いいたしまして、どのような災害なのか、なぜここまで甚大な災害となったのか、今後どのように復興していくのかなどについて、1時間程度3回にわたって全員協議会で勉強会をしてもらいました。恒吉監理官が話してくださったのを覚えております。その上で、現地に足を運び、また当時の森田市長と一緒に上京し、支援のお願いにも行ったこともよく覚えております。災害復旧は、地域の協力のもと、国・県・市が一体となって苦労しながら進めていただいているのを見ておりました。御支援をいただいた関係機関の方々には感謝に絶えない思いです。

災害復旧は着実に進んでおりまして、その中心に林前市長がいらっしゃったことはよく理解しています。地形に関する専門的な知識は持っておりませんが、確かに水害という視点では、常に気を配っておかなければならない地形であったということは、繰り返し学ばせていただきまして、知識を深めているところです。

安全な地域づくりに邁進することは、市の重要な課題だと受け止めております。その点では、林市長が関係機関に働きかけ近隣自治体とも連携し、気候変動に考慮した施設実現のために奮闘されていた姿勢を、私もしっかりと受け継ぎ、取り組んでいきたいと考えております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 先ほど市長のほうから言われましたように、平成29年7月の災害のときは、市長は議長でございました。一生懸命本部に出てこられてやっている姿も私は

見ておりましたので、こんなに一生懸命になって災害の大変さや苦しさが分かってあったからと思ひまして、この所信表明に上がっていないということが、本当に残念でありました。市長言っておきますけど、私は市長の足を引っ張るつもりはございませんので、それからけんかを売るつもりもありません。注意をさせていただけるちゅうことで、お聞き願いたいと思います。

次に、ちょっとこれから具体的に質問をさせていただきます。

平成29年7月九州北部豪雨と復旧の認識について。

朝倉市は、平成29年7月災害で、行方不明者が2名を含む35名の尊い命が失われております。また、1,069戸の生活再建を伴う家屋損壊、洪水と土砂流木で壊滅的な河川と沿線の田畑を目の当たりにしております。今でもあの状況は、私も目に焼きついております。忘れられません。

市長は、平成29年7月災害を当時議長で本部におられました、災害をどのように捉え、血のにじむ思いで地域と行政、国、県、市が長年かけて災害復旧に進められたことをどのように認識しているのか、お伺いをいたします。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） 平成29年当時、熊本議員も執行部の一員として災害対応に当たっていた姿を、私も目に焼きついております。未曾有の豪雨災害を被災住民と行政、国、県、市が一体となって災害復旧を進めてきました。国土交通省の権限代行、それから直轄砂防事業、森林局の民有林直轄事業による治山事業、福岡県県土整備部による河川・道路等の公共土木施設の復旧、福岡県農林部局の支援による農地・農林施設の復旧や治山事業が実施されました。また、朝倉市においても、市が管理する河川・道路の復旧のほか、農地・農業施設・林道の復旧や農地改良、復旧が実施されました。

今、るる述べましたが、このように国、県、市が一体となって災害復旧を進め、短期間に私はめどをつけることができたと思っております。

私が議長で最初災害現場を目にしたときは、多分、これは100年ぐらいかかるんじゃないかと正直に思いました。しかし、これらの事業が円滑に進捗していくように陣頭指揮をされたのが森田市長であり、その後就かれた林市長であると私は認識をしております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今の質問で、私も回答は間違いなかったと思っております。

次に、気候変動に伴い豪雨災害が頻発・激甚化していることの認識についてでございます。

近年の頻発・激甚化している豪雨災害、朝倉市が経験した平成29年7月災害は、温暖化に伴う気候変動によって発生していると認識をしております。中島市長はどのように認識しておられるのかをお伺いいたします。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） 朝倉市を襲いました当時の豪雨は、経験したことがない短期間の集中的な豪雨と言われておりました。ただし、それが今近年の温暖化現象により、気候変動とは切り離せない、頻発するものだと認識しております。

国においては、今後も気温の上昇は続くと想定されており、国土交通省は産業革命以来、気温が2度上昇することを前提とした方針を打ち出しております。気温が2度上昇すると降雨量は1.1倍になり、河川流量は1.2倍に増え、洪水氾濫は2倍に増えると、この前現地で説明を受けました。この解析を基に、筑後川の流量が増量することは、令和7年3月に筑後川水系河川整備基本方針で示されたところです。私もこういった時代であるということとを認識いたしまして、市長として業務に当たっていきたいと思っております。

○議長（小島清人君） 8番熊本正博議員。

○8番（熊本正博君） 気候変動については、これは自然がなすことですからどうすることもできないのですが、対策をよろしくお願いしたいと思います。

今後とも温度上昇は続くと捉えていることや、筑後川水系河川整備基本方針が作成されていることについて認識されていることは、今お聞きしましたので分かりましたが、その動きに対応して、朝倉市はどのように対応をする考えかをお伺いいたします。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） 少し長くなりますけれども、筑後川水系河川整備方針では、河川の流量が増えて、増えた流量を河川とダムなどに制御が担当する流量配分が示されております。このことは、中流域にある朝倉市を流れる河川の流量も同時に増量することになります。その対処をきちんとしないと、市民の安全は守れないと認識しております。

前市長である林市長は、今後の気候変動対策として、平成29年災害で改良復旧された河川と同様に、佐田川や小石原川でも治水能力を高める必要があるとして、国土交通省や水資源機構に働きかけをしてこられました。その結果、現在進められている水資源機構による寺内ダム再生事業があり、国土交通省九州整備局筑後川河川事務所による佐田川の整備であると認識しております。さらに、筑後川流域水系懇談会でも、林市長は小石原川にも念頭を置いたダム群の再編の必要性や、ダム資源を利用したカーボンニュートラルの推進を述べていらっしゃいます。

私は、治水、利水に関する考え方、利水における本市の3つのダムが果たしている福岡都市圏への広域利水の考え方については、前市長の考え方を継承していく考えです。広域利水については、3つのダムなどは朝倉市の誇りある財産と考えており、朝倉市及び福岡都市圏並びに福岡県南の水道水利者とウィン・ウィンの関係が継続し発展するように努力してまいります。

福岡都市圏の皆様が、非常に朝倉市に気を遣っていらっしゃると言ったら言い過ぎかもしれませんが、感謝をしているという姿勢をよく見せていただけるのは、市長になって、朝倉市というのは本当にそういう立ち位置にいるのだなというのは、市長になりました。

て、改めて気づかされたことです。

このような立場から、5月には上京し、国土交通省に直接私の考えを伝えてまいりました。これは、林市長の路線を継承するということを伝えてきたということを意味いたします。また、6月3日に開催されました筑後川河川事務所長との意見交換会においても、私は前市長が求められていた、さらなるダム群の再編の必要性や、ダム資源を生かした温暖化対策としてのカーボンニュートラルの施策を進めてもらいたいと直接お願いをしております。ここでも、やはり朝倉市の重要性といいますか、都市圏への利水の部分での重要性というのを、改めて市長として認識したところでございました。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 市長が今申し上げたように、利水者の方々は朝倉市のことを大事にしてありますので、私たちもそれを受けてやっていかないかんということもあるし、今、市長の話をお聞きしまして、林前市長からの引継ぎをちゃんとやっていただけるような答弁でございましたので、安心をしたところでございます。

次に、両筑平野用水の課題の進め方と河川整備についての認識でございます。

両筑平野用水については、いまだに佐田川、小石原川の撤去すべき古い堰から取水をされております。そのために、福岡県朝倉農林事務所において、つなぎ込み水路事業が行われていますが、思うように進捗していないと認識をしていますが、市長はどのように認識されているのか、お伺いいたします。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） 両筑平野用水の旧堰からの取水の停止、旧堰の撤去という残された課題がございます。これは、ずっと昔から宿題として残ってきたものでございます。そのために、福岡県朝倉農林事務所において、つなぎ込み水路事業が進められていると認識しております。これは、先ほど鹿毛議員との一般質問の中でも述べさせていただいたところです。ただし、農家の理解を得るのにも時間を要する、これも十分理解をしております。農家の皆様は、さぞかし心配だろうなと思っております。事業当事者である朝倉農林事務所様には大変お世話をかけますが、計画どおり進捗するように、市長としても働きかけをしていきたいと思っております。

利水と治水という、ある意味相反することを同時にやっていかないといけませんので、これはなかなかハードルが高いと思いますけれども、計画で期限が設けられましたので、そのように進むように市も一緒になって計画を進めていきたいと思っております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） よろしくお伺いいたしたいと思います。

次の質問が、私にとっては一番重大なところかなと思っております。

この質問は、地域の住民の生命財産を、というところでもありますので、質問をさせていただきますが、旧堰が撤去されていないために河川整備が進みません。特に小石原川につ

いては、洪水を安全に流す能力が極めて低く危険だということでございます。沿線住民は、洪水のたびに河川の氾濫を危惧されています。沿線住民というのは、私が今思っているのが、双葉町とか神田町、そして反対、左岸側に行きますと新河町とか横内町とかそういうところが、やはり方々が河川のそばで、いつも満杯になって流れておりますので、非常に心配をされているところでございます。一度は避難勧告も出たこともありますので、やはりここについて、今から読みますが、沿線住民はこのために、何度も言いますが、河川の氾濫を危惧されております。放置できない課題と考えておりますが、市長の認識をお伺いしたいと思います。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） これまで、再三熊本議員をはじめ鹿毛議員も、この小石原川の心配というのは議会で訴えてこられたと思っております。ある方が、こういう例えをしてくださいました。そうめん流しの竹なんですけれども、途中で節があると、そうめん流しの水がすーっと流れずに、ぴょんと跳ねるといいますか、このそうめん流しの節に当たるのが、堰、旧堰になるわけです。

でも、今日鹿毛議員のほうからもありましたように、一方で、そこから水を取っていらっしゃる利水者の方、農家の方もいらっしゃる。その一方で、気候変動による想定外の雨も降るということで、これをバランスよく事業を進めていかないといけないと思っております。

小石原川の近隣の住民の皆様が、洪水氾濫の危険な事態を心配されていることは、十分に認識をしております。重要課題だと認識をしております。旧堰を撤去していただき、速やかに河川整備を進めてもらえますよう、これからも関係各所へ働きかけをして、バランスよく事業が進むように、市長として、市も一緒に努力をしていきたいと考えております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今の言葉を、やはり住民の方は、市長の言葉が聞きたかったと、インターネット等でこの話を聞きよるばいということで言われましたので、国や県とか、水機構に声をかけていただけるということで、市長が変わられても同じ考えでやっていただくことをよろしく願いをしたいと思います。

そして、一日も早くしないと、また今年も雨期が来ますが、やはりまたすぐにはできない問題ですから、今年も心配をされるんじゃないかなと、そういうことを考えております。いち早くやっていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

市長、最後の質問になりますが、これにつきましては、全体的にもう一度言わせていただきますが、最後の質問です。

治水、利水の政策については、前市長が進めてこられた姿勢を堅持して継承していくことについて、中島市長も間違いはないか、重ねてお伺いをいたしたいと思います。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（中島秀樹君） 私も改めて、繰り返しになるかもしれませんが申し上げます。

山地を背負っている朝倉市にとりまして、治水は安全な地域をつくり、市民に安心して生活をしてもらうための基本であると考えています。命と財産を守る立場で洪水被害の軽減の施策に取り組んでいくことは、最も重要なことであると認識しております。前市長、林市長の進めてこられた姿勢を今後も維持いたします。治水、利水の政策をしっかりと継承してまいります。

利水につきましては、限りある水資源を有効に活用するため、市の3つのダムを有効活用させていただきます。昨年秋から続いておりました少雨で筑後川の流量が悪くなった際も、ダムが供給を続けたことで、何とか断水が回避できたと認識しております。これは、小石原川ダムの存在が大きかったのではないかと私は思っております。この3つのダムの活躍が、福岡市や福岡都市圏の広域利水の役割を果たしており、現在の協力的な関係を築くことができいております。先ほど言いましたように、会議のたびに、福岡都市圏の行政関係者の方は、感謝の言葉を私どものほうに述べていただきます。そして、その証として、災害が起きました豪雨災害時での復旧のとき、土木技術者をいち早く派遣をしてくださったのは、その一つの証であると考えております。

また、農業用水である両筑平野用水の課題解決は朝倉市にとって重要なことであり、水が足りない、届きにくいという課題を解決し、先ほどから申しております古い堰からの取水停止と堰の撤去をしてくださいと約束をされている令和11年までにやってもらいたいと考えております。河川整備が計画的に進められまして、利水と治水、これをバランスよく進めていただきますように、関係機関には強く働きかけをしていきたいと考えております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 最後にお尋ねしましたが、継承していただけるようでございますので安心をいたしました。ありがとうございます。ぜひ継続していただきたいなとお願いいたします。

今年も間もなく雨期がやってまいります。程よい雨であってほしいと願っております。

次に、件名が変わります。新庁舎に変わってからの問題についてということで、今年の1月5日に業務開始した新庁舎になって5か月と12日が経過しましたが、市民の皆様方よりお褒めの言葉や逆に苦情の話が出ております。何がよくて何が悪いのか。朝倉市役所を示す標識についてでございますが、これにつきましては、申し訳ないのですが執行部のほう、一番最後にさせていただいてと思っておりますが、ようございませうでしょうか。

それでは、一番最初に、新庁舎玄関前駐車場についてやらさせていただきます。

地域での会議とか住民の方との話の中で、必ずといっていいほど、新庁舎の玄関前駐車場は狭いので車が入れにくいという声がよく耳にします。駐車場測りました。幅は普通のところと10センチぐらいいき変わりません。2.5メートルでほかと変わらなかったのです。

が、ただ奥行きが普通なら5メートルぐらいあるのが、4メートルぐらいになっていますけど、乗り込んでいきますと別に問題ないようでございます。何で狭いのか分かりませんでした。現場で駐車をするところ、へぐだんでからこうして見よりましたら、何回でも何回でも特にお年寄りの方が、左側の駐車場なんですけど、何遍も何遍も切替えして入れておられたんですよ。そしたら、次の車が左折で左に行くようになっていますから、そこで1台が待ち、2台が待ちという感じで、特に選挙の不在者投票ですかね、事前投票のときがそげな感じだったと思いますが、この頃も質問してから見ていたんですけど、やはり何回も切替えしてしてやるのを見ておりました。ましてや後ろから今言いましたように車が来るもんけん、入れる方はまた慌てて入れてあると、何か緊張して、なおさらまた入らんとというような状況がありました。

だから市民の皆さんは駐車場が狭いと言うのかと思っておりましたけど、これは駐車場が狭いとじゃなくて、その駐車場の中にある通路、その横にある通路が4メートルぐらいしかないんですよ。だから駐車場に入れようとするけど幅が狭いから何回も切替えして入れんと、そしてまた幅が、こっちのほうは中は2線入っていますので、本当は2.5ありますけど、その中の線の中に入れようとしますから2メートルしかないわけですよ。そしたらなかなか入れにくい。確かにそういうことがありまして、通路が狭いから、これは駐車場が狭いな、狭いなと言われるのがこういうことだと私は思いました。5階になりますけど、議員の方やらと一緒にどげんなどげんなとやっぱ見よったら、「やっぱこら幅が狭いけん、何回も入れ切らんとばいな、ここみんな」ちいうようなことになったわけでございます。

普通、ここは4メートルですけど、通常の幅は5メートル以上とあります。通常の場合は5メートル以上通路を取りなさいというのが通常であります。現地は4メートルしかありません。ほかの場所の、下のほうの商業施設の駐車場に行きますと、幅がやっぱり5メートルから6メートルありますので、こう曲がってきてゆっくり後は真っすぐ下がってくれば入るという、ああこの違い、なけん狭いとかなとそういうふうに思っております。

そこで、駐車場について、狭い等の意見は住民から寄せられていませんでしたか、お尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 新庁舎玄関前駐車場につきましては、一方通行の動線や普通車、軽自動車の区分表示を行っておりますが、初めて来庁される方につきましては、認識しづらい状況にあると考えております。

また、狭い、利用しづらいといった意見が一定数寄せられていることにつきましては、把握をしております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） やっぱそげな状況ちゅう把握はされちよるわけですね。

それから次に、左側駐車場の区画幅に対する意識はどうでしょうか。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 新庁舎に向かって左側駐車場の区画幅につきましては、国の設計施工指針に基づいて整備したものであり、必要な寸法は確保しております。しかし、車両の大型化や利用状況の変化により、利用者の体感として狭く感じられる場合がある点につきましては、認識をしております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） それでは、玄関前駐車場について、今後の見直しや改善の考えはありますか、お尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 新庁舎を訪れる方の駐車場につきましては、整備中の南側駐車場の供用開始や既存駐車場を含めた全体的な利用状況を踏まえながら、利用者の安全性の確保を前提に、必要に応じて、より利用しやすい駐車環境の改善に努めたいと考えます。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） こういう質問をすると、まずは、ここの市庁舎の玄関前の駐車場の広さですたいね。これがやっぱりほかの嘉麻市とか、違うところ、筑紫野市とかいろいろなところありますけど、やっぱり広いですもんね、大体が。ゆったりあります。ここはやっぱり狭いので、そげなごと言うたっちゃ、議員がそのごと言うたっちゃ、狭めもんはしげねじゃねえかち言われればそうまでですけど、そういう駐車場については狭いから仕方ないかもしれませんが、下にもまた駐車場ができるようになっておりますので、白線が今度消えたときには、その6つあった駐車場を、消えちよるけん今度は6つを今度は5つで広く取るとかそういうことをやっていただければ、市民も喜ばれるのではないかなと、そのように考えておるところでございます。

次に、新庁舎玄関前、これも駐車場のことにもなるんですけど、この新庁舎の玄関前、正面のところ、両サイドに1メートル、そしてまた1メートル上りになってますが、上っていくようになった歩道といいますか、1メートルの幅があります。この歩道の段差が15センチぐらい、もうちょこつとですけど高さがついております。それで、歩く人には、私も前やったんですよ、目があんまりいいほうじゃないので。アスファルトとアスファルトがあって、ちょっと縁石が入っておりますが、段がついていないように見えるわけですよ、そこが。思わずそのまま横に当たりよって引っかかって、危ねちいうような、そういうことがございました。私の近所の方も「ひっくり返るごとなったばい、あそこは。びっくりした。段がついちよるもん」、というようなことで、慣れてくればもう段があるって分かってくるかもしれませんが、やっぱり新しい庁舎になって、そういう問題が出ておりま

す。そんな話をしているうちに、今のいうように段があったのを気づかずに、水平だと思われたんでしょうが、転倒されて手を骨折されたというようなことも、つい最近起こっております。やっぱりこれ危ないんだと、自分も思ったわけですが、実際に段差がついちよってびっくりしたぐらいの方とか、転倒して今言われた骨折したとか、いろいろな苦情ちゅうかやらが、私のところこういう質問をしようとしたら出てきたわけですよ、いろいろ。やっぱりここは危ないのかなということで、そのけががあった後に、これはいいことでありますけど、黒と黒でしたから、歩道側を今はオレンジ色でからペインティングしてあるですたいね、きれいに塗ってありますから、分かりやすいんだろと思って現地を見ましたが、やっぱり自分は引っかかって転びそうな感じ、分かっているながら、そういう感じでした。

そこで質問をさせていただきますが、この場所は危険ですよというような住民の声は寄せられていませんでしたか、お尋ねをいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 新庁舎正面前の通路付近におきまして転倒しけがをされた方がいるということにつきましては、把握をしております。

この正面玄関前の通路につきましては、車道と歩行者通路の舗装色が同色であったことから、歩道の段差が分からない、分かりづらいとの御意見をいただいているところです。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 分かりました。そしたら、現在歩道と車道が色分けされておりますが、改善されておるというところでございますが、これでも危険であるとなったら、改善の考え方はありますか、お尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） このような御意見を踏まえ、現在は歩行者通路部分に着色を行い、車道との視覚的な区分を明確にする対策を講じております。

その上で、利用者にとって危険であると感じられる状況がある場合につきましては、利用状況や現地の状況を踏まえながら、安全確保の観点から必要な追加対策について検討し、対応したいと考えております。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） よろしくお願ひします。私も注意をしておきたい。ここについては注意したいと思っております。注意して見守っていきます。

次に、来訪者の対応についてで、私はこれがまた一番大事なところですが、気になっているのですが、執務室といいますか職員の仕事の場所ですね。グループデスク方式。職員が横を向いて仕事をしておられます。もちろん課長も横を向いておられます。職員と同様に仕事をしております。これが採用されています。私が仮に建設課に行ったとします。建設課で行きますと、やっぱり横を向いて一生懸命仕事をしようなるけれど、分からんわけ

ですよ。だから、「すみません」ち言うとなんか見てくれて、「どなたに御用ですか」、「課長お願いします」と言ったら課長を呼んでもらって、というようなことが、建設課に限らずまた違う場所においてもそういうことを言われるんですよ。

これを違う市民の方から聞いたのが、「市役所にやったんが、知らんてから俺が来たもんけん知らんふりしちよる」と。私は言いました、そのとき。「いや、おじさん。知らんふりをしとるわけじゃなかですばい。あれは仕事一生懸命して横向いちよるけん分からんだけですたい。だけん、知らんふりして対応せんやらそういうことはありませんけん。おじさん、それは間違いですばい」ち言ったら、「そうなのか」ち言うて、それは納得をしていただきましたが、そこで質問をさせていただきます。来訪者について、苦情の状況はどうかお尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 来庁者対応につきましては、総合案内を中心に職員が積極的に声かけを行っており、重大な苦情が多数寄せられている状況ではございません。

一方で、各課において、個別には対応に関する声があると聞いているものの、それらを十分に整理集約して把握するまでには至っていない状況でございます。

今後は、寄せられた意見などの把握及び共有の在り方を整理しまして、来庁者対応のさらなる改善に努めていく考えでございます。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 重大な問題じゃないと言われましたが、職員には言わない。あそこでから「おまえら何け」ち言うとは、あんまりおんなれんち思います。やっぱりそのまま家に帰ってから、「まああんな人たちはもう知らんことしてから分かせん」ちいうようなことを、恐らく私もどこかの地域の会議とか、集まったところで話したときにそういうことはお聞きしますので、市のほうにはあまり入ってこないのかなと。言うとしたら、受付の方に帰りがけ、「何かあの態度は」ち言うて帰られる人はおるそうでございます。そういうことを言うて、そこらもよっと耳をやっていたきたいなと、そのように思っております。

次に、執務室レイアウトによる課題認識はありますか。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 執務室は、業務効率化を目的にグループデスク方式を採用しておりますが、その一方で、来庁者への視認性が低下し、気づきにくい場合が生じる可能性があるとのことにつきましては、課題として認識をしております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） それでは、気づきにくさへの具体的対策は検討される気はありますか。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 職員に対し、来庁者への迅速な対応を徹底するよう周知し、目配り気配りを意識した対応の強化に努めていく考えてございます。

加えて、職員間での情報共有を図るとともに、窓口対応における声かけの徹底など、日常業務の中で実施可能な運用面の工夫を積み重ねることで、来庁者が相談しやすい環境づくりに取り組んでいく必要があると考えております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） これは余談になるかもしれんばってん、自分ならホテルやらでからチーンち鳴らす呼び鈴があるですたいね。あれをただ置くだけでも、もしも気づいたら何ちゃないと気づきならんならチーンち鳴らして、そしたら誰かが見るけん、それがあればいいような気もいたしております。私の思いであってから、そちらの考えは違うと思いますので。よろしくお願いします。

それからもう一つ、受付のほうはどうであろうかと。これは、市役所の中にある受付、受付はどうやろうかと思いました。受付は、昔は入ったらすぐ横が受付やったけんで、ちょっと分からんときには、「水道課どこですか」と言ったら、「5階ですよ。エレベーターで上がってください」でよかったんですけど、今度は広くてホテルんごとしちよるもんけんで、奥の左横にあるから、ちょっと見てお年寄りには分からんできょろきょろとしよんなるんですけど、分からない。しかし、そういうこともございまして、今、受付の担当の方々は、やっぱり話合いをされて、これじゃいかんなどということで、何かきょろきょろされているときあらば、もう受付のほうから出て行ってその場に来てから、「お客さん、何かどこに御用ですか」とかいうようなことを言ってありました。私、直接あれですから横のほうからじーっと見よったんですよ。そしたら、「お客さんはどちらに御用ですか」と言ったら、「私ね、何々に、これ何とか」ち言いよなったら、パンフレットのところに行って、パンフレットを見せてこうこうですよと言いつつ、そしてそのあとタッチパネルのところに行って、どこに行けばいいのかまで押してやって、そして、「お客さん、これで、次、何番のところは何番で言われたら行ってくださいね」ち。そこまで受付のほうはされてありますので、今回、庁舎が新しくなりましたが、ここについては何も問題はないと。受付は十分役割を果たしているなど問題はありませんので、質問もいたしません。ここはもうよい話のところでございます。

それから次に、新庁舎施工についてでございます。新庁舎本体についても、すぐとは言いませんが、調査をしていただきたいなと思い、建物の調査を行うべきだと考えています。

なぜ私がこんなことを言うのか。実は、この頃の話ですが、糸島に新庁舎が2年前出来上がっております。新庁舎は、出来上がって2年ほどしたら、クラックが250か所、水漏れが4か所確認されたということです。原因は施工不良であったそうです。

そういうことで、施工不良なので、元請負業者が約3,000万円を負担し、令和8年の2月に補修工事が完了をしたということです。だが、それだけでは終わりませんでした。

庁舎2階における真夏の冷房が効きにくいという不具合がまた起こっております。原因は、空調設計上の不備が判明したそうで、新庁舎建設工事の設計管理業務を委託しておりました設計会社による設計上の誤りがあったそうでございます。もちろん、これについても設計会社が全額負担することになっております。そういうことが起こっております。

令和8年の3月には議会一般質問で、糸島市新庁舎建設に関わる施工不具合及び事業執行の検証について、議員が質問をされております。こんな身近な都市で新庁舎の話を聞きますと、自分のところはどうなんだと、そうってきますよね。朝倉市新庁舎は施工会社である前田建設、才田組、そして羽野組の特定建設企業体で施工されておりますが、私はここは心配はしておりませんが、お尋ねをします。これまでの庁舎の不具合の状況はどうでしょうか。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 新庁舎は、適切な品質管理の下施工されており、現時点で構造上の重大な不具合は確認をされております。

また、設備面につきましては、設備ごとに保守点検業務の中で定期点検を実施し、軽微な不具合や調整が必要な事案が発生した場合には、速やかに対応することとしております。

さらに、点検結果を記録し、予防保全の観点から、不具合の早期発見に努めております。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） それでは、ほかの自治体事例を踏まえた対応はどうでしょうか、お尋ねします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 他自治体の施工不良事例につきましては、重大な事案であると認識をしております。本市においても同様の事態が生じないように定期点検に努め、必要に応じた対策を図っていく考えでございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） これについては、よろしくお願いいたします。

これにつきましては、才田組とか羽野組の社長に、こういうことを質問しますがようございませうでしょうか、失礼に当たりますが。ということで、納得をしていただいてこの一般質問をさせていただいております。

次に、1番目の標識です。朝倉市を示す標識について述べさせていただきます。

朝倉市の標識でございますが、やはりこれは一番大事なことでありまして、特によその市町村では、庁舎がすぐ国道の横とか県道の横にあります。こう見れば、ここが庁舎だということで、手前2つぐらいにどこどこ庁舎と入れておけば分かりやすいんですけど、朝倉市の場合は奥に入らないといけない。東西南北、4か所入り口がありますが、この4か所、高速道路から降りてきます馬場口・大町線ですかね。高速道路から警察のなんかで通

る道のほう、高速から降りてきますと、もう大きな看板で甘木市役所ち書いて矢印が入っております。20メートル手前ぐらいに。だから間違いありません。「あ、ここ市役所たい」ちゅうて入っていくんですが、その逆、警察署のほうから今度は高速のほうに向かって左折をしていくんですけど、今度は20メートル前に矢印が左ですよちしてあるんですよ。分からない方は、次の場所やろうと思って、それを越えてしもて、左に曲がろうとしてあれあれ曲がるとこがねえやんなというようなことになった方がおられると思います。これは、やっぱり同じ場所につけたらおかしくなりますよね。小さいのでいいんですけど、手前のほうにつけていただければどうかなとか、そういうのと思ったのと、三福町交差点から左に行って、里川海とかのところ通るんですけど、もう信号過ぎたらすぐのところ看板が朝倉市役所、ピーポートち小さいけどあります。しかし、次のところに行きますと、大きな看板の上のほうにあるんですけど、市役所、ピーポートちて小さく書いてあるんですよ。一番上にこうあるけど、なかなか見にくいなと思っておるところです。でも、上げてあることは上げてあります。

そういうことでお尋ねをしますが、甘木市役所を誘導する案内標識について、市は分かりやすい設置であると捉えておられるか、お伺いいたします。

○議長（小島清人君） 契約検査課長。

○契約検査課長（養父 学君） 現在設置しています案内標識につきましては、新庁舎への円滑な誘導を目的として、主要幹線を考慮し配置しております。

具体的には、自動車用として新設6基、既設標識の板面変更9基、歩行者用として新設7基、合計22基を設置しております。これにより、市内外からの来庁者に対して段階的な誘導が可能となっており、全体として一定の分かりやすさは確保されているものと認識しております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、課長申されましたけれども、私に分かるなら、こんな一般質問でからこういうことを出していませんよね。分からない人らがおるから、一般の人、十分できているという今回答でございましたが、できちよるなら私もこげな質問しませんもん、はっきり言って。

それで、悪いとは言いません。確かにあるんですから分かります。それから、もう市役所が分かれば、私たち、住民の方やらは市役所が分かればそげなもん見もせんで、ここから曲がるものということで、分かっていただけのだろうとは思いますが、やっぱりほかのところから来られた方に対しては、やはり不親切な標識にならんごと、もう一度確認をしていただいて、そして、私としましては、分かるところにつけていただければいいと、そういうことで言わせていただきたいと思います。釈迦院のところから入る標識ですね。それはもうこんなにそばにありますので、見て、朝倉市役所、右か、向こう側についていますけど、やはり分かります。入ります。ああ、ここだなと。私たちもよそに行ったとき

に、やっぱり同じように向こう側に標識がついちゃって、行ってしもたら変なところに、「何やここ違うやんか、庁舎はどこにあるとや」っちいうようなこともあります、やっぱりよそから来られた方が不愉快な思いをさせないような、朝倉市であってほしいなと、そのように思っておるところでございます。

今まで私が質問させていただいたことについては、私は朝倉市民の声を議員として代弁をさせていただいたと思っております。今さっきも申しましたけど、苦情とかはいろいろ、市の方はなかなか聞かんとは思いますが、やっぱりいろいろなところから出ております。それとか、もう一つ忘れてましたけど、売店が分からんなちゅうのが何か受付でよく聞かれるそうです。そして、売店を行きながら真っすぐ行って横にあるのが分からんまま通り過ぎた。今日も売店を見たけど、売店じゃないごとあるけんですね。何か分かりにくい、売店がどこにあるんですかというようなことを受付でよく聞かれるそうでございます。

そういうところも、小さいところではございますが、どうか目配りしていただいて、目配り気配りをさせていただいた朝倉市のそういう新しい庁舎に臨んでいただきたいと思っております。今さっき言いましたことにつきましては、幾つか挙げてきました駐車場のこととかいろいろ、これについては検討していただきたいと思っております。

朝倉市発展のため、新しい庁舎で職員の皆様、頑張ってください。終わります。

○議長（小島清人君） 8番熊本正博議員の質問は終わりました。

暫時休憩いたします。午後2時20分から再開いたします。

午後2時10分休憩